

地域連携推進会議

開催日	令和7年11月4日	時間	10:00～10:45
開催場所	新しのつ幸生園体育館		
【出席者】 様（利用者代表） 様（家族代表） 様（地域代表） 様（高等養護学校関係者） 様（行政担当） 施設職員 柚木			
議 件			
1) 挨拶・趣旨説明			
2) 出席者自己紹介			
3) 新しのつ幸生園の概要説明と見学			
4) 地域との連携状況について			
5) 意見交換・質疑応答			
6) その他			
協 議 経 過			
1) 挨拶・趣旨説明	別紙 新しのつ幸生園地域連携推進会議実施要綱にもとづいて推進会議の趣旨を説明しています。		
2) 出席者自己紹介	それぞれ自己紹介をしていただいています。		
3) 新しのつ幸生園の概要説明と見学	別紙幸生園の概要についての資料をもとに幸生園の状況について利用者状況・職員の状況、・活動内容：個別支援、創作、リハビリ、季節行事、外出イベントなどを説明しております。 利用者の状況については平均年齢が41歳であること、支援区分が平均5.5と高めであることを説明しています。 職員については特定技能職員の方が4名いることを説明しています。 その後施設見学をしてもらい、個室であること、。全室エアコンがついていることなど説明をしています。また活動している様子も見学していただいています。その際特定技能の職員について紹介をして親切でとても勤勉であることも紹介しています。		
4) 地域との連携状況について	地域行事（文化祭、青空祭り）への参加していること避難訓練を地域住民と共同実施していることグループホームへの移行については意向調査をしているがほぼ入所を継続してもらいたいという意見であることを報告しています		

5) 意見交換について

ご本人から

楽しかったこと・好きなこと カラオケと毎日の課題と答えていただいています。好きなことはカラオケとクリスマス、幸生園のお祭りと答えていただいています。職員についてはみんな優しいと回答をいただいています。

地域の方から外出について質問をうけています。ご本人より誕生日にバラ園にいったアイスを食べた報告がありました。柚木より誕生日に外出して本人希望の外出先に1日職員と一対一で過ごす時間を設けていることを補足説明しています。

ご家族から

満足度は高く「この支援はどうか?と思うことはほぼなかった」との意見をいただいています。

また、「職員はとてもやさしく接し方や言葉遣いが丁寧で安心して任せられるという印象を持っています」と意見をいただいています。

要望として

- ・運動会などの行事が減ってきていることに対する寂しさ。
- ・若い利用者もいるため、可能であれば再開してほしいという希望。
- ・保護者の高齢化により、行事参加が難しくなっている。
- ・兄弟など若い世代の参加も視野に入れてほしい。
- ・「動かさない人」への配慮として、少しでも身体を動かす機会を増やしてほしいという声がありました。

その他として

地域の人に受け入れられている様子がありうれしいと話がありました

高等養護学校関係者より

継続してかわりを持っていきたいとの声をいただいています。

地域の方から

建物がきれいでまた利用者様の表情もよくていいとの意見をいただいています。

要望として

昔はもっといろいろな場面（例えば村祭りや山車を引いてくれたりなど）交流があったと思うが利用者様の様子も変わってきているとは思いますが交流の場が増えるといいと思うとの意見をいただいています。

付き添い職員から

利用者とのかわりでやりがいがあることお祭りやクリスマス会の行事担当について役割もあたっていて最もやりがいを感じていると報告がありました。

行政から

職員と利用者様のコミュニケーションについて質が高いことを評価してもらっています

特定技能職員の方について

特定技能の職員については在留5年間となっています。

介護福祉士をとり一定の条件があると家族帯同永住権もできることを説明しています。

	最後に地域連携推進会議について毎年1年に1度実施することが義務となっていますので次年度以降も参加依頼するとおもいますがよろしくお願い致します。
--	---

以上

令和7年度 地域連携推進会議

10:00～

新しのつ幸生園 体育館

次 第

① 開会挨拶・会議趣旨の説明

② 出席者紹介

③ 施設の概要説明と見学

④ 地域との連携状況

地域行事への参加、地域住民との交流

地域移行支援の取り組みについて

⑤ 意見交換・質疑応答

ご本人へ

- i. 楽しいことはなんですか？
- ii. 職員はやさしいですか？
- iii. すきなことはなんですか？

そのほかみなさんから聞きたいことは？

ご家族へ

- i. ご家族からの満足度は？
- ii. 施設への希望・要望は？
そのほかみなさんから聞きたいことは？

高等養護学校の先生へ

- i. 幸生園の印象はいかがですか？
- ii. 施設への希望・要望は？
その他先生が聞きたいことは？

地域の方へ

- i. 幸生園の印象はいかがですか？
- ii. 施設への希望・要望は？
その他聞きたいことは？

行政の方へ

- i. 幸生園の印象はいかがですか？
- ii. 施設への希望・要望は？
その他聞きたいことは？

○新しのつ幸生園地域連携推進会議実施要綱

(趣旨)

第1条 居住系サービスである障害者支援施設及び共同生活援助（以下「施設等」という。）において、各事業所で地域の関係者を含む外部の目を入れた「地域連携推進会議」を開催すること及び会議の構成員が事業所を見学する機会を設けること（それぞれおおむね1年に1回以上）が義務付けられました（令和6年度は努力義務、令和7年度以降は義務）。この規定は新しのつ幸生園地域連携推進会議以下「推進会議」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(会議の目的)

第2条 地域連携推進会議は、施設等と地域が連携することにより、以下の目的を達成するための、地域の関係者を含めた外部の方が参画する会議体である。

- ・ 利用者と地域との関係づくり
- ・ 地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進
- ・ 施設等やサービスの透明性・質の確保
- ・ 利用者の権利擁護

地域連携推進会議は、上記の目的をより効果的かつ確実に達成するため、単に会議体を設置するのみでなく、地域連携推進会議の全ての構成員は訪問者（以下「地域連携推進員」という。）となる。

(推進会議の構成員)

第3条 地域連携推進会議は、次に掲げる者のうちから、協議する内容及び議題に応じて招集し構成するものとする。

以下の中から事業所が選定し、構成員に就任する。

- ・ 利用者 (必ず選出)
- ・ 利用者の家族 (必ず選出)
- ・ 地域の関係者 (必ず選出)
- ・ 福祉に知見のある人
- ・ 経営に知見のある人
- ・ 市町村の障害福祉担当者等

(守秘義務)

第4条 推進会議の構成員は、推進会議を通じて知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

2 推進会議の構成員は、推進会議に係る個人情報に関する誓約書(別記様式)を主催者に提出するものとする。

附則

この告示は、令和7年4月1日から施行する。

新しのつ幸生園の概要について

障がい者支援施設 新しのつ幸生園

1. 【事業概要】

施設入所40名、生活介護40名、短期入所2名の定員で事業を展開しております。

生活介護においては個別計画に沿った課題、軽作業、創作の他、理学療法士の計画に沿ったリハビリや季節感を意識したレクリエーションを提供しています。

職員関係としましては、管理者1名 サビ管1名 栄養士1名 看護師3名
生活支援員 28名（うち非常勤8名）となっています。4名の方がインドネシアからの特定技能の職員となっています。

諸行事につきましては、誕生日の外出、個別外出、日帰り旅行、幸生園まつり 青空まつりも開催され見学とパレード参加もできております。保護者様も参加され一日楽しく過ごすことが出来ました。

安全防災関係においては施設内外の自主点検、8月に夜間想定避難訓練を実施し防災に関する意識を高めております。10月に村の防災事務局の方の応援をもらい避難訓練を実施しております。

保育専門学校の実習生の受け入れと介護実習生の受け入れを昨年引き続き実施しております。

食事関係では、季節のメニューや健康や特性に合わせた食事形態また、リクエスト食や選択メニューを実施しています。

2. 【利用者の状況】

(1) 在籍数

(令和7年9月30日現在)

区分	定員	契約数	計	備考
1) 施設入所支援	40名	(男性) 22名 (女性) 17名	39名	
2) 生活介護	40名	(男性) 22名 (女性) 18名	40名	女性2名4回/月
3) 短期入所	2名	(男性) 名 (女性) 1名	2名	女性1名
4) 日中一時支援	4名	(男性) 0名 (女性) 0名	0名	

入所待機者

男 性 : 1名

(希望者 男性1名 女性1名)

(4) 障がい支援区分

《施設入所支援》

区分	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
男性	—	—	—	0	8	14	22
女性	—	—	—	2	6	9	17
計	—	—	—	2	14	23	39
平均区分 5.5							

《生活介護》

区分	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
男性	—	—	—	0	8	13	21
女性	—	—	—	2	7	10	19
計	—	—	—	2	15	23	40
平均区分 5.5							

障がい支援区分とは 区分 1 から 6 までの 6 段階があり、数字が大きくなるほど、より重度の障がいや多くの支援が必要と判断されます。区分 6 が最も支援が必要となります。

(5) 年齢

《施設入所支援》

年齢	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	計
男性	0	4	8	4	4	0	2	22
女性	0	3	3	6	5	0	0	17
計	0	7	11	10	9	0	2	39
平均年齢 41.3 歳								

《生活介護》

年齢	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	計
男性		4	8	4	3	0	2	21
女性		3	4	6	5	1	0	19
計		7	12	10	8	1	2	40
平均年齢 41.5 歳								

(6) 強度行動障がい

《施設入所支援》

	10 点	18 点	計	内区分 6
男性	8	10	18	13
女性	9	3	12	7
	17	13	30	20

強度行動障がいとは、自分や他人を傷つけたり、物を壊したりするなど、周囲に影響

を及ぼす行動が著しく高い頻度で起こる状態を指します。このような行動は本人の健康や生活、周囲の人の暮らしに大きな影響を与えるため、特別な配慮や支援が必要となります。10点以上で認定されます。

3. 【日中活動状況】

(1) 生活支援

項 目	支 援 内 容
食 事	治療食や偏食の対応、個別の栄養管理、見守り、食事介助など
入 浴	週3回（月・水・金）の入浴実施
排 泄	トイレへの誘導・促し、下着交換、排泄表管理チェック
整 容	髭剃りや身だしなみ
健 康	検温、血圧測定、定期通院など
環 境	居室の清掃、整頓

(2) 課題／創作的活動

	作業内容	主な活動
あーとグループ 男性 16名 女性 8名	軽作業 パズル 個別課題	マッチングなどの個別課題 タオル・おしぼり洗濯、たたみ作業 カラオケ
ばるむグループ 男性 6名 女性 10名	創作活動 健康管理	ビーズ絵作成・貼り絵 リハビリ、軽運動 カラオケ
男性 21名		女性 19名 合計 40名

5. 【給食関係】

月	日	行事食等	リクエストメニュー	選択メニュー
4	10	昼食会（オードブル）	3回	3回
5	31	幸生園まつり（昼食）	2回	1回
6	10	昼食会（オードブル）	3回	3回
7	10	昼食会（弁当）	3回	3回
	19	土用の丑の日（昼食）		
	31	土用の丑の日（昼食）		
8	7	七夕（夕食）	5回	2回
	14	昼食会（オードブル）		
9	18	昼食会（弁当）	2回	3回

8. 【行事実施状況】

月	日	行事名	場所	備考
月	日	行事名	場所	備考

4	10	歓迎会（紹介）	幸生園	2名
	24	余暇レク	幸生園	スイーツ会
5	25	幸生園まつり	幸生園	保護者参加
6	24	余暇レク	幸生園	スイーツ会
7	17	日帰り旅行	百合が原・ロイズ	
	29	七夕レク	幸生園	かき氷
	29	日帰り旅行	円山動物園	
8	8	職員歓迎会	幸生園	
	21	日帰り旅行	あいちゅらんど長沼	
	21	日帰り旅行	当別町	
	23	青空まつり（生活介護）	自治センター	終日参加
	26	日帰り旅行	サンピアザ水族館	
9	11~12	一泊旅行	ユンニの湯	
	18~19	一泊旅行	ユンニの湯	
10	9~10	あーと一泊旅行	定山溪温泉・豊平峡ダム	令和6年度
	10	ハロウィンレク	活動場	令和6年度
11	14	焼き芋レク	活動場	令和6年度
	19	ばるむレク昼食会	体育館	令和6年度
12	24	クリスマス会	食堂	令和6年度
1	9	新年会	食堂	令和6年度
2	3	節分会	体育館	令和6年度
3	18	送別会	食堂	令和6年度

9. 【その他】

（1）ヒヤリ・ケガ等報告状況

月	4	5	6	延件数	主な内容
件数	7	15	4	26	転倒：6 薬：6 その他：14
月	7	8	9	延件数	主な内容
件数	11	11	3	25	転倒：11 薬：2 その他：12
令和6年月	10	11	12	延件数	主な内容
件数	13	8	7	28	転倒：11 薬：2 その他：15